

特別企画：第4回奈良県内企業メインバンク調査

南都銀行が全地域・全業種でシェアトップを堅守 ～2位は大和信金、3位は奈良中央信金で社数・シェアともに伸ばす～

はじめに

日本銀行のマイナス金利政策による超低金利の長期化が響き、金融機関にとって厳しい経営環境が続いている。上場地銀の2020年4-9月期中間決算では、発表分のうち6割にあたる49行・グループの最終損益が減益・赤字となった。各金融機関ではこれまで、店舗統廃合や人員削減を積極的に押し進めたコスト圧縮や、フィンテックなどIT化の推進、活動基盤の拡大に伴う越境融資など、攻防含めた生き残り策を続けてきた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大という想定外の事態に直面するなか、融資先企業の業績悪化などから与信費用が増加するなど逆風が吹いている。

折しも、菅義偉首相が「地銀は多すぎる」と述べるなど、金融機関の再編圧力は再び高まっている。近畿では2020年1月に大阪の第二地銀である大正銀行と徳島銀行が合併し、徳島大正銀行が誕生。地銀再編が進むなか、収益力向上とともに、地元での存在感、広域化、コンサルティング機能向上など生き残りのために独自色を打ち出した施策が求められている。

帝国データバンク奈良支店では、2020年12月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている奈良県下企業(13,051社)がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。同調査は2020年1月に続き4回目。

※本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した

調査結果（要旨）

1. 奈良県内の企業がメインバンクと認識している金融機関のトップは、「南都銀行」で全体の61.7%を占め、前回調査から社数・シェアともに微減となったものの、引き続き圧倒的な存在感を示した。「大和信金」がシェア6.4%、「奈良中央信金」がシェア6.0%でこれに続く
2. 奈良県内の企業を本社が所在する5地域別にみると、全地域で「南都銀行」がトップとなり、前回調査からは奈良市エリアを除く4地域でシェアが減少も一強は変わらず。「大和信金」が2地域で2位、新たに吉野エリアで5位に浮上したほか、「奈良中央信金」が3地域でランクインし、地元信金の存在感が増している
3. 奈良県内の企業を業種別にみると、主要7業種で「南都銀行」がトップ、「大和信金」がこれに続いた。トップの「南都銀行」は「サービス」で66.9%、「建設」で64.7%となり高いシェアを維持している

1. 県内ランキング ～南都銀行が61.7%でトップ～

奈良県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「南都銀行」（奈良市）が8,056社、構成比61.7%（前回調査時点8,082社、構成比62.0%）で、2位以下に大きく差をつけて首位を堅守した。前回調査より社数、シェアともに微減となるも、奈良県内では引き続き圧倒的な存在感を示した。

県内に本店を置く金融機関では、「大和信金」（835社、構成比6.4%）が2位、3位に「奈良中央信金」（784社、同6.0%）、6位に「奈良信金」（383社、同2.9%）が入り、いずれも前回より社数が増加。「奈良信金」は前回6位だった「三井住友銀行」を抜いて順位を入れ替えた。

県外の金融機関では「りそな銀行」（624社、同4.8%）が4位、「関西みらい銀行」（182社、同1.4%）が8位、「中京銀行」（119社、同0.9%）が11位となった。メガバンクでは「三菱UFJ銀行」（576社、同4.4%）と「三井住友銀行」（380社、同2.9%）および「みずほ銀行」（127社、同1.0%）の3行全てが上位10行に入った。

メインバンク社数上位20行
第3回調査（2019年12月末時点）

順位	金融機関名	社数	構成比
1	南都	8,082	62.0%
2	大和信金	818	6.3%
3	奈良中央信金	770	5.9%
4	りそな	617	4.7%
5	三菱UFJ	581	4.5%
6	三井住友	392	3.0%
7	奈良信金	372	2.9%
8	関西みらい	187	1.4%
9	奈良県農協	160	1.2%
10	みずほ	126	1.0%
11	中京	120	0.9%
12	紀陽	113	0.9%
13	京都	98	0.8%
14	ゆうちょ	90	0.7%
15	第三	68	0.5%
16	商工中金	51	0.4%
17	大阪シティ信金	34	0.3%
17	近畿産業信組	34	0.3%
19	京都中央信金	18	0.1%
20	北伊勢上野信金	12	0.1%
～			
合計		13,038	100.0%

メインバンク社数上位20行
第4回調査（2020年12月末時点）

順位	金融機関名	社数	構成比
1	南都	8,056	61.7%
2	大和信金	835	6.4%
3	奈良中央信金	784	6.0%
4	りそな	624	4.8%
5	三菱UFJ	576	4.4%
6	奈良信金	383	2.9%
7	三井住友	380	2.9%
8	関西みらい	182	1.4%
9	奈良県農協	164	1.3%
10	みずほ	127	1.0%
11	中京	119	0.9%
12	紀陽	113	0.9%
13	京都	106	0.8%
14	ゆうちょ	86	0.7%
15	第三	69	0.5%
16	商工中金	49	0.4%
17	大阪シティ信金	32	0.2%
17	近畿産業信組	32	0.2%
19	京都中央信金	18	0.1%
20	北伊勢上野信金	12	0.1%
～			
合計		13,051	100.0%

注：表内の網掛けは第3回調査（2019年12月末時点）から順位の変動があることを示す（以後同様）

2. 地域別シェアランキング

地域別¹にみると、「南都銀行」が全地域で50%を超えて首位となり、圧倒的な強さを見せた。他方、前回調査からは北西部エリアを除く全地域で社数が減少したほか、奈良市エリアを除く全地域でシェアがやや減少。また、「大和信金」が5地域中2地域で2位となり、吉野エリアでは前回から順位を1つ上げ5位に入った。「奈良中央信金」は北西部エリアで2位、中部エリアで3位、吉野エリアでは5位となったほか、「奈良信金」は奈良市エリアで3位となるなど、地域金融機関が地元地域で社数およびシェアを伸ばした。

メガバンクでは「三菱UFJ銀行」が5地域中3地域でランクインするほか、県外からは旧・奈良銀行の営業基盤を継承する「りそな銀行」のほか、「中京銀行」「紀陽銀行」などがランクインした。

地域別メインバンク社数上位行

【奈良市エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	2,010	59.8%
2	(2)	りそな	197	5.9%
3	(3)	奈良信金	193	5.7%
4	(4)	三菱UFJ	176	5.2%
5	(5)	三井住友	162	4.8%

【北西部エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	2,537	56.7%
2	(2)	奈良中央信金	411	9.2%
3	(3)	三菱UFJ	274	6.1%
4	(4)	りそな	231	5.2%
5	(5)	大和信金	214	4.8%

【中部エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	2,009	61.5%
2	(2)	大和信金	455	13.9%
3	(3)	奈良中央信金	265	8.1%
4	(4)	りそな	123	3.8%
5	(5)	三菱UFJ	112	3.4%

【吉野エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	1,188	79.9%
2	(2)	紀陽	66	4.4%
2	(3)	りそな	66	4.4%
4	(4)	奈良県農協	36	2.4%
5	(5)	奈良中央信金	15	1.0%
5	(6)	大和信金	15	1.0%
5	(6)	中京	15	1.0%

【東部エリア】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	312	67.1%
2	(2)	大和信金	63	13.5%
3	(4)	奈良県農協	18	3.9%
4	(3)	中京	16	3.4%
5	(5)	りそな	7	1.5%

¹エリアの区分は次のとおり

【奈良市エリア】＝奈良市 【北西部エリア】＝生駒市、香芝市、葛城市、大和郡山市、大和高田市、生駒郡、北葛城郡 【中部エリア】＝橿原市、桜井市、天理市、高市郡、磯城郡 【東部エリア】＝宇陀市、宇陀郡、山辺郡 【吉野エリア】＝五條市、御所市、吉野郡

3. 業種別ランキング

主要7業種（「建設」「製造」「卸売」「小売」「サービス」「運輸・通信」「不動産」）別の上位金融機関は以下の表の通り。「南都銀行」は、前回調査と比較すると「建設」「運輸・通信」を除く5業種において社数が減少、「小売」「運輸・通信」を除く5業種でシェアが減少するも、全ての業種で2位以下に圧倒的な差をつけトップを堅守。「サービス」では7割に迫る。「大和信金」は5業種で2位、「奈良中央信金」は「製造」で2位となったほか3業種で3位となった。「奈良信金」も6業種でランクイン。

このほか、「三菱UFJ銀行」が「卸売」で2位となるなどして6業種で、「りそな銀行」が全7業種でランクインしている。

主要7業種別メインバンク社数上位行

【建設】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	3,047	64.7%
2	(2)	大和信金	356	7.6%
3	(3)	奈良中央信金	324	6.9%
4	(4)	りそな	191	4.1%
5	(5)	奈良信金	153	3.3%
6	(6)	三菱UFJ	131	2.8%
7	(7)	三井住友	99	2.1%
8	(8)	奈良県農協	80	1.7%
9	(9)	関西みらい	61	1.3%
10	(10)	中京	52	1.1%

【小売】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	786	59.8%
2	(2)	大和信金	85	6.5%
3	(3)	奈良中央信金	84	6.4%
4	(5)	りそな	59	4.5%
5	(4)	三菱UFJ	58	4.4%
6	(6)	奈良信金	55	4.2%
7	(7)	三井住友	46	3.5%
8	(8)	関西みらい	24	1.8%
9	(9)	紀陽	21	1.6%
10	(10)	奈良県農協	18	1.4%

【卸売】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	709	56.5%
2	(2)	三菱UFJ	113	9.0%
3	(3)	りそな	78	6.2%
4	(4)	奈良中央信金	74	5.9%
5	(6)	大和信金	54	4.3%
6	(5)	三井住友	53	4.2%
7	(7)	みずほ	33	2.6%
8	(8)	奈良信金	27	2.2%
9	(8)	関西みらい	24	1.9%
10	(10)	京都	17	1.4%

【サービス】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	2,106	66.9%
2	(2)	大和信金	155	4.9%
3	(3)	りそな	130	4.1%
4	(4)	三菱UFJ	119	3.8%
5	(5)	奈良中央信金	110	3.5%
6	(6)	三井住友	86	2.7%
7	(7)	奈良信金	78	2.5%
8	(8)	ゆうちょ	49	1.6%
9	(9)	奈良県農協	32	1.0%
10	(10)	みずほ	29	0.9%

【運輸・通信】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	189	54.8%
2	(2)	大和信金	38	11.0%
3	(3)	奈良中央信金	31	9.0%
4	(4)	りそな	18	5.2%
5	(6)	奈良信金	13	3.8%
5	(5)	三菱UFJ	13	3.8%

【製造】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	846	57.7%
2	(2)	奈良中央信金	111	7.6%
3	(3)	りそな	103	7.0%
4	(4)	三菱UFJ	102	7.0%
5	(5)	大和信金	90	6.1%
6	(6)	三井住友	42	2.9%
7	(7)	奈良信金	32	2.2%
8	(8)	関西みらい	21	1.4%
9	(9)	みずほ	19	1.3%
10	(10)	京都	18	1.2%

【不動産】

順位	前回順位	金融機関名	社数	構成比
1	(1)	南都	297	46.2%
2	(2)	大和信金	47	7.3%
3	(3)	りそな	44	6.8%
4	(4)	奈良中央信金	42	6.5%
5	(5)	三井住友	38	5.9%

4. まとめ

奈良県下のメインバンクは「南都銀行」が6割を超えるシェアを獲得し、都道府県内シェアでは全国47都道府県中4位となる高いシェアを維持。さらに全地域、全業種で前回調査から変わらずトップとなり、地元を地盤とする地域金融機関としての存在感を見せた。そのほか、「大和信金」が5地域中2地域で2位、新たに吉野エリアで5位に浮上したほか、5業種で2位となり、「奈良中央信金」が5地域中3地域と7業種すべてで上位にランクイン、メガバンクも上位に入った。

また、前回調査と比べて「南都銀行」は社数、シェアともに減少しているのに対し、「大和信金」や「奈良中央信金」、「奈良信金」などはいずれも社数を伸ばしていることから、地元信金の存在感が増していると言える。

その一方で近年は、少子高齢化による地域人口の減少や低金利政策の長期化など収益を上げづらい環境が続いている。今後は顧客から選ばれるために、オンラインでの融資サービス拡充や、事業承継・創業支援などコンサルティングメニューの充実など融資以外の金融サービス充実を図るなどして、地域金融機関が独自色を打ち出す必要が増すこととなるだろう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 奈良支店 担当：野口 健一

TEL 0742-26-3231 FAX 0742-27-5337

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。